

第 27 回 高円寺地域における新しい学校づくり懇談会会議録（要旨）

会 議 名	第 27 回高円寺地域における新しい学校づくり懇談会
日 時	平成 30 年 3 月 19 日（月）午後 2 時～ 4 時
場 所	高円寺中学校 多目的室
出 席 者	懇談会委員 24 名（欠席 4 名）
傍 聴 者	2 名
次 第	1 特別支援学級開設に向けた取組について 2 平成 29 年度 3 校の交流活動について 3 学園歌・学園章について 4 標準服について
資 料	資料 1 （仮称）高円寺学園の特別支援学級開設に向けた取組について（案） 資料 2 （仮称）高円寺学園 学園歌楽譜・歌詞 資料 3 第 3 回 学園章検討部会会議録（要旨） 資料 4 （仮称）高円寺学園 学園章デザインのご提案②③ 資料 5 第 1 回 標準服検討部会会議録（要旨） 資料 6 （仮称）高円寺学園 標準服アンケート実施要領（案） 資料 7 標準服についてのアンケート（案）

会長	<p>第 27 回高円寺地域における新しい学校づくり懇談会を始めたいと思います。よろしく願いいたします。</p> <p>本日なのですが、4 名の委員から欠席の連絡を頂戴しております。まだおいでになっていない委員さんもいらっしゃいますが、時間になりましたので始めたいと思います。</p> <p>また、本日は、傍聴の方が 2 名おいでになっております。よろしく願いいたします。</p> <p>では、最初に配付資料の確認をさせていただければと思います。</p> <p>（配付資料確認）</p> <p>では、次第に沿って進めてまいりたいと思います。</p> <p>次第 1、「特別支援学級開設に向けた取組について」でございます。</p> <p>以前から懇談会でもお話のあった特別支援学級の開設に向けた取り組みについてですが、本日は特別支援教育課の阿部課長からご説明いただければと思います。</p>
特別支援教育	新校に設置する特別支援学級については、この懇談会からも開級する段階でし

課長	<p>っかりとした体制が整っていることが重要といったご意見を伺っております。教育委員会といたしましても、子どもたちが安心して学級に通えるよう準備を順次進めていくことが肝要という認識を持っており、この間、統合する3校の校長先生方と意見交換等を行ってまいりました。こうしたことを踏まえまして、特別支援学級開設に向けた取り組みの案として、本日、懇談会委員の皆様にお示しさせていただくものでございます。</p> <p>それでは初めに資料1の3、スケジュールをご覧ください。まず、平成30年5月に検討委員会を設置したいと考えております。検討委員会設置後は、教育課程、指導体制及び指導内容についての検討に着手し、平成30年12月を目途に中間まとめを行い、その後も検討を継続していきます。</p> <p>また、新通学区域の検討を夏頃から、教材・必要物品等の検討を9月頃から、平成31年度の取組事項等の検討について12月頃に行おうと考えております。</p> <p>平成31年4月に準備担当教員の配置とございますが、準備担当教員を1名を配置することとし、開設に向けた取り組みを進めていく考えでございます。</p> <p>次に「検討メンバー」をご覧ください。記載のとおり、統合3校の校長、済美養護学校の校長、杉並和泉学園の学園長、特別支援学級の教員をメンバーとしていただいております。</p> <p>次に、「主な検討事項」でございますが、3点でございます。</p> <p>1点目は開設準備ということで、教育課程、指導体制及び指導内容等については、杉並和泉学園での取り組みを参考として検討してまいります。</p> <p>2点目は、新校舎完成後、開校までの対応ということで、記載のとおり、新校舎での交流体験授業などの検討でございます。</p> <p>3点目はその他ということで、2点目の「開校までの対応」に挙げた以外の内容について検討してまいります。</p> <p>検討の状況につきましては適宜この懇談会においてご報告したいと考えております。</p> <p>私からのご説明は以上でございます。</p>
会長	<p>どうもありがとうございました。</p> <p>特別支援学級の開設に向けて、検討メンバー、検討事項、日程等についてご説明をいただきました。</p> <p>今ご説明いただいた特別支援学級開設に向けての取組でございますが、ご質問、ご意見等はございますでしょうか。</p>
委員	<p>補足いたします。</p> <p>特別支援教育課におかれましては、来年度から特別支援教室が完全実施されるという忙しい最中にご出席いただき感謝申し上げます。</p> <p>今年度、3校で特別支援学級の教育課程も含めて、方向性をいろいろ相談してきました。この資料1を出すにあたって事前に特別支援教育課と3校の校長で話をして、学校の意見も踏まえた提案をしていただいております。概ねこの方向で来年度は進められるかなと思っています。</p>

会長	<p>補足、ありがとうございました。</p> <p>それでは他にご質問、ご意見等がございましたらお願いいたします。</p>
委員	<p>スケジュールのところ、平成30年度の検討内容と、31年4月の準備担当教員の配置が記されていますが、1年開校が延びていなかった場合と比べてどれだけ大きく変わっているのでしょうか。</p> <p>例えば1年延びたことによって充実した内容になっているところはどこなのかご説明いただきたいと思います。</p> <p>2点目に、杉並和泉学園の取り組みを参考に検討とありますが、昨年度、杉並和泉学園の検証結果について出されたものが何かあったと思います。特別支援教育に関してだけ他校の平均よりも非常に低い数値が出ていたのを記憶しております。そういった点を事前に、参考というよりも課題として取り上げることを考えていますでしょうか。</p> <p>3点目に、「新校舎完成後、開校までの対応」で交流・体験授業とございますけれども、これは阿佐ヶ谷中、杉三小、馬橋小にある特別支援学級の教育活動の一環なのでしょうか。それとも子どもたちを新校で開級する年度から受け入れるための準備ということなのでしょうか。以上についてお聞かせいただけますでしょうか。</p>
特別支援教育課長	<p>それでは、1点目の開校が延びたことによって変わった内容がどういうところかということでございますが、新校舎を使つての交流・体験授業という項目を挙げておりますが、やはりそこが一番大きなところであると思っております。</p> <p>新校舎を使った体験などは開校が遅れてなければできなかったと考えておりますので、この点が充実した部分であり、開設に向けての保護者様の不安などの解消に繋がるものであると考えております。</p> <p>2つ目の杉並和泉学園の検証結果に基づく特別支援学級の評価の点でございます。課題を反映させるなどの具体的なことまではこの検討の中で想定はしておりませんが、ご指摘を踏まえれば、そういったことのないように新校の特別支援学級の開設に向けての参考にすべきであろうと思います。また、課題解決の方法も講じていく必要があろうと考えております。</p> <p>3点目の交流・体験活動です。これは阿佐ヶ谷中、杉三小、馬橋小の生徒を対象にするというところをご指摘のとおりですが、実際に開設されて入学されたときのことが十分にイメージしていただけるような体験ができればいいかなと思っています。新校を希望しないとか、物理的に行けないという子どももいるかも知れませんが、あくまでも将来につながるような体験という形で実施していければと思っております。</p>
委員	<p>当初、平成31年4月の新校開校と同時に特別支援学級の開設ということで計画が進んできました。物理的に校舎が完成しないということで、充実した教育環境を担保できないということであれば開級を1年延ばすことは理解できます。</p> <p>ただ、例えば31年4月から特別支援学級に通級したいという希望を持っているお子さんがいる家庭があることも考えられるので、単に開校延期に伴って開級</p>

	<p>が延びるということだけでなく、特別支援教育に関して手厚い環境を作っていかなければいけないと思います。障害者差別解消法の「合理的配慮」の観点もあると思います。そういった家庭に対して、開校が1年延びても、開校前から通学ができる、通級ができる準備というものをしっかりと検討していただきたいと意見させていただきます。以上です。</p>
特別支援教育課長	<p>ご意見をありがとうございます。いずれにしても、子どもたちが開校のときに不安なことがないように、十分にご意見も伺いながら検討してまいりたいと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございます。 ほかにはいかがでございましょうか。ご質問、ご意見、どちらでも構いません。</p>
委員	<p>では、補足をさせていただきます。今日お配りしたニュースレターの2ページに、「特別支援学級の開設に向けて」という記事が書かれています。これは夏休み期間に3校でいろいろ検討、相談した結果、こういう方向でいこうと打ち出したものです。特別支援教育課にも見ていただき、概ねこれでいいというお話を聞いております。</p> <p>先ほどのご意見にあったように、杉並和泉学園の課題も、私どもも課題として考えております。新校では小中一貫で9年間の特別支援教育が保障できるというところを大事にしながら、ここに記載のとおり、特別視するのではなく、同じ学校の1学級だということ、生活年齢を大事にすること、集団を大事にすること、そして自立する力を高めていくということなどを柱として進めることにしました。</p> <p>開校が1年延びたことを逆にメリットとして、普通学級でいうと例えば9年間の算数、数学の数の系統性に基づいた教育計画ですとか、国語や外国語の指導計画なども丁寧につくれる時間がとれるかなと思っています。きちんと準備することで特別支援学級の教育の中身も保障できるだろうと考えています。出来るだけいい学級をつくりたいと思っています。以上です。</p>
会長	<p>ありがとうございます。お手元のニュースレターは最新号でございます。特別支援学級について、ほかにご意見はいかがでございましょうか。</p>
委員	<p>新校舎を使った開校までの交流・体験授業について質問します。現在、杉八小、杉四小、高円寺中の学区域に住んでいるが、3校に特別支援学級がないために別の学校に行っている子どももいると思います。中学生は3年間なのでいいと思うのですが、小学生は他校から、新しい高円寺学園に転校ということは可能なのでしょうか。</p>
特別支援教育課長	<p>例えば馬橋小や杉三小の特別支援学級の在校生が平成32年4月以降に転校を希望する場合は、ということですね。事前にそういう方に向けて意向調査を行い、新校の特別支援学級に入りたいという希望があれば、転校できる仕組みにしております。</p>
会長	<p>ありがとうございます。他はいかがでございましょうか。 (意見なし)</p>

	<p>それでは、特別支援学級については以上とさせていただきます。</p> <p>今回ご説明いただいた中身に沿って、4月以降、学校と協力し合って進めていければと思います。よろしくお願いいたします。</p>
特別支援教育課長	<p>ありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。</p>
会長	<p>次第2「29年度の3校の交流活動」ということでございます。</p> <p>高橋校長先生がまとめてくださいました。よろしくお願いいたします。</p>
委員	<p>私は、今年で赴任して3年目になります。個人的な実感なのですが、1年1年、この3校が随分いろんなことで一緒に行動できてきたと感じています。それでは、今年度の1年間の流れについて、簡単に報告したいと思います。</p> <p>(スライドショーを投影)</p> <p>まず、今年度は新校の教育計画を全部作るということと、また、昨年から掲げていた学力向上を2つの大きな柱として行ってきました。</p> <p>新校の開校準備と研究授業があるため、忙しくて両立できないのではないかと話もあったのですが、やはり授業は大事だから学力向上についてもちゃんとやっていこうということで、取り組みました。</p> <p>3校の研究推進委員会は10回、杉四小を会場として行いました。また、合同研究会という3校の教員が全部集まる会は10回行って、研究授業は杉八小で7月に行いました。</p> <p>4月19日の合同研究会では算数の学力向上ということで、済美教育センターから講師に来ていただいて、ペア学習の研修をしました。</p> <p>7月5日の杉八小での研究授業です。杉四小、杉八小、そして高円寺中の先生方が一堂に会しながら小学校の授業を見る形で、3校の先生で協議をしました。</p> <p>3校が集まってやると、これだけの教員がいるのだなと感じると同時に、小学校と中学校の先生方がこうやって机を突き合わせてやれるのはこの地域ならではのかなと思っています。</p> <p>杉四小がこの10年やってきた「小中一貫」という名のもとに、児童が高円寺中へ行って授業を受けるという取り組みなのですが、今年度は4月19日からスタートして、年間11回、5、6年生が高円寺中で学習をしました。1回目ときには、初めて高円寺中を訪れる5年生を副校長先生が案内をして下さいました。</p> <p>高円寺中では中学校の先生から授業を受け、中学校の先生の話聞く機会が結構ありました。それから、出前授業ということで、中学校の先生が小学校へ行って授業をしてくださいました。今年の杉四小卒業生の呼びかけの中にも、中学校の先生にも授業を教えてもらいました、というような一文があります。そのことから、児童にとっても割と日常化してきているかなというふうに思います。</p> <p>そして、4月の土曜授業で、杉四小では生き方を学ぶガイダンスという授業をやったのですが、1、2年には子供園の先生がお話をしてくださり、5、6年生には高円寺中の先生がお話をしてくださるということで毎年企画を立てている</p>

のですけれども、今年は山口副校長先生が赴任早々、まだ状況のつかめない中でしたが、本当にいいお話をしてくださいました。

杉八小の運動会が5月にありまして、高円寺中の阿波踊り部の皆さんが参加してくださいました。6月3日、高円寺中の運動会がありましたが、校庭が使えないため、杉四小の校庭で朝から中学生が運動会の準備をしました。

やはり中学生だと若干校庭が狭く感じるなという感じでしたが、リレーなども子どもたちが一生懸命頑張っておりました。

杉四小、杉八小が合同で弓ヶ浜へ行きました。

これは弓ヶ浜の浜辺です。2日、3日目と朝の会をやりますが、それも合同でやります。それから、食事と同じ食堂で一緒に食べます。今年は磯観察のレクチャーも合同で受けました。これは説明をしてもらっているところです。

開園式や閉園式についても合同で行っています。

私は、小中一貫で児童たちが高円寺中に行くとき、給食を一緒に食べさせてもらっています。5、6年生を回った後は、中1、中2、中3の教室にも行って、食べてくるのですけれども、だんだん生徒たちも構えることが少なくなってきたかなと思います。「校長先生、来ているのね」みたいな感じになったかなと思います。

9月のはぴはぴフェスティバル、今年度は2回目でしたけれども、高円寺中の体育館を使って行いました。土曜授業の日と同じ日だったので、土曜授業の後、小学生が結構参加してくれました。アトムの会という杉四小のおやじの会も土曜日授業の一環として参加してくれました。

9月24日に杉四小の運動会があり、このときも高円寺中が来てくれています。

9月29日、10月2日と部活動体験をしました。子どもたちにとっては部活動体験は結構印象深いようです。野球部も人数が少ないのですけれども、トスバッティングなどを体験させてもらいました。

これは地域清掃です。中学生と小学生が一緒になってやるということで、もう7～8年ぐらいの歴史があるかなと思います。

10月21日のわくわくフェスティバル、杉四小の5年生が毎年発表しています。杉八小の6年生も昨年度から発表をするようになりました。それぞれの作品の展示もしました。杉八小は阿波踊りの際の便乗ごみ問題についてレポートを出してくれました。わくわくフェスティバルの中ではこれが一番圧巻かなと思うのですけれども、中学生全員と小学校6年生による全員合唱の場面です。

10月23日の放置自転車クリーンキャンペーン、中学生と小学生が一緒になってやっています。この活動もだんだん当たり前になってきています。しかし、ほかの地域に聞くと、ここまで一緒にコラボしているところは余りないようです。

杉四小の学習発表会です。これは2年生なのですが、阿波踊りを踊っています。このとき高円寺中に頼んで、助っ人をお願いしました。彼らが鉦（かね）や太鼓を叩いてくれたおかげで、大いに盛り上がりました。

11月25日の高円寺中創立70周年記念式典です。

12月1日に杉四小の児童文化の研究発表をやったのですが、このときも阿波踊りということで高円寺中の生徒にお手伝いをいただきました。高円寺中にいつも頼んでしまっていますが、これだけ実績があるので素直に頼みやすいというのが実感です。

歳末助け合い運動、放置自転車クリーンキャンペーン、社会を明るくする運動など、年間3回は小中一緒にやる機会があるので、かなり児童・生徒は慣れてきているかなと思います。当然、中学生も杉四小、杉八小の卒業生であれば小学校のときに経験しています。小学校で経験しているため、自分が中学生になったときに、リードしてやらなきゃという意識で動いてくれているようです。

花いっぱい運動、今年は12月でしたが、高円寺中の生徒が来てくれて、小学生と一緒に花を植えました。これは杉四小の校庭の脇のところの道です。

それから、杉四小の学校評議員会を12月に行うのですが、そのときに必ず小中一貫で、杉四小の子どもたちが高円寺中で授業をやっている様子を見てもらっています。

12月のゆめ音楽祭です。ゆめ音楽祭は杉四小、杉八小、高円寺中の他、杉三小、杉十小、高南中も参加していますが、3校が一堂に会しながらやれる機会として大事にしています。

これは杉八小の箏クラブです。それから、杉四小の天鼓隊、杉四小のブラスバンド、高円寺中の吹奏楽部、杉八小の音楽教室、3校でこれだけ演奏を披露しています。

3学期に、杉四小、杉八小の5、6年生が合同で模擬選挙を体験するのですが、今年で3年目になりました。今年は杉四小を会場にして、子どもたちが投票立会人などの仕事を割り振って、実際の投票に近い形で体験することができました。これは開票の様子です。開票はこのようにやるのだよと、杉四小、杉八小の5、6年生がこういう形で模擬選挙に取り組んでいます。高円寺中でも体育館で模擬選挙を実施しています。

4年生は、杉四小、杉八小ともにキャリア教育で物をつくって売るという活動をしています。せっかく同じようなことをやっているのだから、合同で何か報告会ができたらいいねということで、3年前から始めました。

会場は、杉四小、杉八小ときて、今年は杉四小の体育館で行いました。嬉しかったのは、高円寺中の進路担当の先生がわざわざ聞きに来てくれて、杉四小、杉八小の4年生に「いま君たちのやっていることは、今度、中学校に行くときこんなことにつながるんだよ」という話をしてくれたことです。

ただ発表をするだけでなく、混合チームにして、杉四小、杉八小が一緒になって、ばらばらにチームを組んでリレーをしました。先生たちが「もう2年後にはみんな1つになるのだから」ということで盛り上げてくれました。最後にお互いの商品を交換し合って終わりました。これが合同の報告会です。

3年生は高円寺カルタの交流というのを行いました。本当は1月にやるはずだったのですが、インフルエンザで学級閉鎖になってしまい、延び延びになってし

まいりました。何とか3月に杉八小の3年生が訪ねてきてくれて、杉四小の3年生が発表することができました。

次に、これは直接の教育活動ではないですけれども、ウルトララリーです。

高円寺中の生徒が手伝いに来てくれて、小学生と一緒にウルトララリーをやってくれています。今年はチームを組みまして、かなり中学生がてこずったというか、中学生に大変苦勞をかけたチームもあったようですが、本当に頑張ってくれました。これは、イベントの会場です。イベント会場でも中学生がこうやって活躍してやってくれています。

3月9日、杉四小の卒業を祝う会、6年生を送り出す会、毎年橋本校長先生が参加してくださって、中学校で待っているよという話をしてくれています。これも普通だとあり得ないかなと思うのですけれども、何となく子どもたちの中では当たり前風景になっているというのが嬉しく思います。

先日、高円寺中の卒業式がありました。黒川校長先生と私と2人、学校の代表ということで参加させていただきました。

以上、駆け足で1年間を振り返ってきましたが、今年度の成果としては、まず、新校の教育計画が特別支援学級も含めて作成できたことです。いま印刷をしていて、高円寺中でまとめているので、かなり分厚いものになると思うのですけれども、とにかくその冊子をつくることができたことが、私たちの1年間の大きな成果だと思っています。

2つ目は、ニュースレターの最新号が皆さんのお手元にあります。小中一貫について発信できたこと。そして、3つ目は合同研究会で学力向上を目標に3校が協力して実践していったこと。これだけのことが出来たのも、地域や保護者の皆さんのご支援、ご協力によるものだと思います。本当に感謝申し上げます。

最後に、毎年言っていますが、やはり子どもたちにとってよりよい学校をつくるのが私たちの使命であり、今よりも水準が下がることがないように、工事期間中も教育内容が下がることがないように、さらに上に行けるように、次年度も頑張っていきたいと思っています。

具体的には、学力向上プロジェクト30ということで、学力向上はやはり私たちにとっては外せません。今年度以上にペア学習の検証を進めて、学力向上を図っていききたいと思っています。

それから、2つ目はインクルーシブプロジェクト30ということで、これも共生社会の実現に向けて具体的な取り組みをいろいろやっというと思っています。

今年度まではこの学力向上とインクルーシブは2つの柱だったのですが、来年度からさらに「高円寺コラボプロジェクト」というものを増やしました。これは簡単に言えば、高円寺という地域に学校として積極的に打って出ていこうということです。

またいろいろなところで地域や保護者の皆さんにはお願いすることが出てくるかもしれないのですが、よろしくお願ひします。本当に地域と保護者に支えら

	<p>れてきた学校なのですけれども、今後もう一步踏み出して新たな展開ができるのではないかなと思っています。</p> <p>子どもたちにとって、よい学校をつくるということが私たちの使命であるため、現場の教員にとっては新校の教育課程や教育内容や教育方法をよりよくしていくことに尽きるだろうと思っています。来年度は、期間が延びたということで、丁寧に新校の準備を進めてまいりたいと思っています。</p> <p>以上です。どうも1年間、ありがとうございました。来年度も高円寺地区の子どもたちのために頑張りたいと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。せっかくの機会なので、何かご質問、委員方からございますでしょうか。</p> <p>(質問なし)</p> <p>教育計画はいま高橋先生のお話のとおり、印刷はほぼ出来ていて、ファイルに綴じ込んで、4月の研修会の際に先生方にお配りする段取りで考えています。開校が延びたので、教育計画の中身をまたみんなで、さらに良くなる場所であったり、さらに付け加えられる場所であったりをプランニングをしていながら見直していきます。さらに、開校前年に中学生が引っ越した後は、小学校のほうでも2学期、3学期を通して新校舎を一生懸命活用していただいて、検証をしていくという段取りで、来年、再来年については計画をしていきたいなと思っています。</p> <p>では、次第に沿って進めていきたいと思います。</p> <p>次第3、「学園歌・学園章について」です。去年の8月になりますが、学園歌の制作依頼を桃井第一小の筒井先生にお願いしました。学園歌が完成したということですので、事務局より説明をお願いします。</p>
<p>教育施設計画係推進担当係長</p>	<p>資料2「杉並区立高円寺学園 学園歌〈学び舎高円寺〉」をご覧ください。</p> <p>今、会長からもお話があったように、桃井第一小学校の筒井雅子音楽教諭に学園歌の制作を依頼いたしまして、このたび完成いたしましたのでご報告いたします。</p> <p>制作依頼後、先生が3校を訪ねしまして、これまでの各校の歩みや学校として大切にしているもの、現在の子どもの様子などを校長、副校長にヒアリングされました。そして、制作のイメージを膨らませて、着手していただいたという経過がございます。</p> <p>資料2の裏面に歌詞がございます。先生にお伺いしたところ、1番、2番の冒頭部分は、子どもたちの成長を地域全体で支えながら、子どもたちがさまざまな経験をしつつ成長していく様を表した歌詞になっています。そして、「芽吹き春」、「心踊る夏」、「実りの秋」、「忍耐を知る冬」という歌詞の部分は、四季の移ろい、季節ごとに子どもたちの成長の過程を描写するようなイメージです。そして、その後は各校の教育目標を参考にして、「助け合い 高め合い」、2番では「信じあい 学びあい」という、ある意味、普遍的な大切な要素を歌詞のほうに盛り込んでいただいているということになります。</p>

	<p>本日は、先生がピアノ伴奏で歌っていただいた音源がございますので、そちらのほうを聞いていただきたいと思います。</p> <p>(音源再生)</p> <p>私も1回、2回と聞いているうちにだんだんメロディも覚えてきて、2回目に聞いたときの方がよりよく感じた印象を持ちました。何か感想などがあればお伺いできればと思うのですけれどもいかがでしょうか。</p> <p>ちなみに小学校1年生から中学校3年生まで一緒に歌うということで、音域を大体1オクターブぐらいで収めて、どの学年でも歌いやすいような構成で考えたということはおっしゃっていましたので、一応参考にお伝えしておきます。</p> <p>また、来年度になるのですけれども、先生のほうで混成三部合唱の楽譜を作っていたら、合唱ができるようなものに仕上げたいなと思っておりますので、引き続き取り組んでいきたいと思っています。</p>
会長	<p>今も事務局からございましたが、本当に聴くたびに耳に馴染む感じになってきます。何かご感想などはありますでしょうか。</p>
委員	<p>これから先いろいろ仕上げていく中で、ピアノ伴奏で歌うのが基本だとは思いますが、例えばオーケストラのように編曲するなどのアレンジはかけていくのでしょうか。</p>
教育施設計画係推進担当係長	<p>例えば吹奏楽でこの学園歌を演奏するような場合、どのパートをどの楽器を使って演奏するかで楽譜が違ってくるものなので、どの楽器を使うという明確な意思を示さないと、なかなか先生のほうでも楽譜をつくれないうところもあります。</p> <p>先生も合唱曲が得意分野でもあるため、吹奏楽の楽譜よりも、三部合唱などの楽譜を作っていたらこの歌が生きるのかなということもあって、先日、3校の校長先生と話してその方向でいこうということになっています。</p>
委員	<p>学園歌は、さまざまな場面で応用して演奏なりをしていく形になるかと思えます。編曲などのアレンジをするのは難しいかと思うのですけれども、良いものをつくっていただければと思います。今聞いた限りではすごくいい曲だなとは感じております。</p>
委員	<p>余り音楽のことはわからないのですけれども、歌詞の最後の部分の「私たちのふるさと高円寺で」の「で」が要るのでしょうか。「高円寺」で止めるのはだめでしょうか。</p>
副会長	<p>国語的に言うと、この前の「助け合い 高め合い とともに伸びてゆこう」、これを限定する場所を指すために「で」を入れてあると思うのです。倒置してあるということですので、文法としては大丈夫かとは思いますが。</p> <p>国語的に言うと、前文の「助け合い、高め合い、ともに伸びてゆこう」を限定する場所を指すために「で」を入れてあると思います。倒置法を使っているので、文法としては大丈夫かと思えます。</p>
委員	<p>1番の歌詞に「助け合い」とあるので、校歌に「助ける」というのはあまり見受けられないかなと私は思っています。何か強者、弱者がいるという</p>

	<p>ような印象を少し受けたのです。感覚的な発言していますが、どうでしょうか。</p>
会長	<p>恐らく、「助け合い」は中学校の教育目標の「互いに助け、高め合おう」から引用されているのかなと思います。</p> <p>それでは、ご意見で「で」と「助け合い」というところをいただいておりますが、他はいかがでしょうか。</p>
委員	<p>「学び舎高円寺」というタイトルではありますが、「高円寺学園」という単語は入っていないのですよね。この地域で育っていく子どもたちという意味での学び舎高円寺という意味なのだろうなと思いながら聴いておりました。</p> <p>歌詞に「高円寺学園」という言葉を入れてほしいとか、入れてほしくないということではないのですが、学校名が入っていないことで、学校の歌なのに高円寺の歌のような印象を私は受けました。</p> <p>あと、1番の歌い出しの「母なる大地にいだかれて」というところが、中学校の合唱歌でよく歌われている大地讃頌のイメージが強いので、ちょっと引っかかるかなと思います。</p>
会長	<p>皆さんが感じたところを出していただいて、事務局にお持ち帰りいただこうと思います。ほかにはいかがでしょうか。</p>
委員	<p>校歌ってやはり最後に「我が母校」だったり、学校名が入るか、そういう形になると思います。いま聴いたら「高円寺で」という地域を指していて、「学び舎高円寺」はやはり地域の曲になると思います。なので、校歌なのにイメージが地域に限定されてしまうのでどうなのかなと感じました。</p>
会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>他になければ、懇談会ではこんなようなご意見を頂戴しましたということ事務局と筒井先生でお話しいただければと思います。</p>
教育施設計画係推進担当係長	<p>先生としても全体の構成のようなものが当然あると思いますが、懇談会でお披露目したときにこういうような意見が出たということは、ご相談は申し上げたいと思います。</p>
会長	<p>よろしくお願いします。</p> <p>では、学園歌についてはここまでとしたいと思います。ありがとうございました。</p> <p>続いて、学園章でございますが、修正案ができ上がってまいりました。3月13日に開催された第3回学園章検討部会で、その修正された学園章についてご検討いただきました。検討の中身につきまして、事務局よりご説明を願いますでしょうか。</p>
教育施設計画係推進担当係長	<p>前回の1月の懇談会でデザイン案の提案内容、検討部会での意見等をご報告させていただきましたが、部会での意見に基づいて佐藤先生に修正のデザイン案を作成していただきました。3月13日に第3回の学園章検討部会を開催いたしまして、出来上がった修正案について意見交換をいたしました。その修正案が資料4になります。</p>

この資料4に修正した5案が載っていますが、検討部会では、A案とK案の2つのデザインに絞り込んだという形になります。絞り込みの対象にならなかったE、J、H案については省略させていただき、A案とK案の内容をご紹介します。

まず、A案でございます。コンセプトとしては、「二重のラインで表現された3つの円は、杉並区立第四小学校、杉並区立第八小学校、高円寺中学校が、それぞれ培ってきたものを大切に持ち寄り一緒に力を合わせていく姿、そして力強く表現した円弧は、家庭、地域、学校を表し、皆が一丸となって花咲かせるように、すばらしい学び舎を作り上げていく姿を表現しています」ということです。

検討部会で出た意見を踏まえて、円弧の太さや表現を調整したもの、円弧の上下関係を変更したもの、杉のイメージを追加したもの、「高円寺」という表記ではなくて、高円寺の「高」一文字にしたもの、この4つのバリエーションの修正案をご提案いただきました。

A案の修正案の考え方が書かれていますので、読み上げます。

「太い円弧の先端を徐々に細くする表現によって、軽やかで華やかな印象にしました」、「A-2、A-3、A-4、図案中に杉の木を表現したものをご提案します」、「A-4の「高」一文字を使用したものは、3つもしくは6つのモチーフが図の中心を基準に配されたデザインと相性がよいのですが、やはり高等学校の校章によく使用されている一文字なので、そのあたりの検討が必要と思われます」というのが先生のコメントがでございます。

また、円弧の前後関係を変更したものについては、図案としての魅力がなくなり、おもしろさに欠けるかなという印象を持っているとのことでございます。

次に、K案のコンセプトを読み上げます。

「三方から重なる三角形は、3校がそれぞれの力を持ち寄り協力して新しい形（学園）を作り上げていく様を表現しています。また、この三角形は杉の木のシルエットにもなっています。頭文字の「KG」はモダンな表現にし、全体的に未来的なイメージになっています」ということでございます。

これが原案だったのですが、検討部会で、この「KG」を「高円寺」あるいは「高」一文字に変更したデザイン案を見たいという意見があつて、先生に依頼をしました。

そして、校名を日本語表記に変更したもの、色面の強さのバランスを変更したもの、輪郭線を外周のほうに入れたもの、「高」一文字に変更したものという、4つのバリエーションを作成いただきました。

K-3については図案の周りの輪郭線を入れたもの。あと、資料ではK-2、K-4は、似たような色合いになっているのですけれども、複数色を使用して、色面の強弱のバランスを変更したバリエーション案とのことでした。

また、このような形でも「バッジにする場合は下記のような形態で制作可能です」というコメントがついています。

次に資料3の学園章検討部会の会議録の要旨を見ていただきたいのですけれど

	<p>ども、まずA案の修正案の主な意見としては、「円を重ねた丸みを帯びた図案なので、角張ったフォントでなく図案にあったフォントに変えてもらいたい」「文字をもう少し小さくした図案が見たい」「文字をK案のほうで使っている字体にしたらどうか」というような意見でした。</p> <p>また、「A-1～A-3の図案にある「高円寺」という文字が、デザイン中、若干上寄りに配されているので、文字を中央寄りにした図案を見てみたい」「A-1～A-4の中だとすると、A-3の図案は杉の木が下部に2カ所配され、安定感があり、A案の中では一番デザインとしてはよいのではないか」という意見がありました。</p> <p>次に、K案の修正案についての意見ですが、「角張っており、刺々しいような印象を受けた」「未来的であり、和の要素も感じられるためよいと思う」「KGという文字を漢字に変えたことで、デザインが生きてきたように見える」「K-2の輪郭をかたどった図案を見てみたい」「K-1～K-4の図案であればK-2案が一番よいと思う」というような意見が出ました。</p> <p>そこで、検討部会でのA案とK案に対する意見に基づいて、急遽再修正いただきました。それが「学園章デザインのご提案③」という資料になります。</p> <p>まず、A-3 aというのが前回の提案の原案になります。A-3 bは、「高円寺」の文字の横の線が若干細く見えると思いますが、これはK案の図案に入れた文字を入れ込んだものでございます。A-3 cとA-3 dは、角丸ゴシック形の書体に置きかえたものです。文字を変えたことで少しイメージが変わるかなというところです。</p> <p>次に、K-2案を修正したものということで、輪郭線を入れたものが見たいという意見を反映したものが、K-2 bの案です。修正いただいたときのコメントとしては、「A-3 c、A-3 dの角丸ゴシック系は、バッジ等の小さなサイズにした時に、ちょっとエッジがあまく見えてねむい感じがするかもしれません」と書いてあります。</p> <p>あと、K-2案のバリエーションに関しては、「境界線なし、ありどちらも良いと思われませんが、なしのほうが図案としては潔い感じがします。バッジなどにする時には、境界線ありのようなラインで1つの形態になります」というコメントがついています。</p> <p>検討部会で意見交換をして2案に絞らせていただき、さらに修正案をいただいたということになります。色面の強弱のバランスだとか配色、あと「高円寺」のフォントなどの調整は、今後行うことが前提となりますが、本日は、学園章としてどちらのデザインを採用するか決めていければと思いますので、忌憚のないご意見をお願いできればと思います。よろしくお願ひします。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。学園章のデザインということで、難しいところもあるろうかと思いますが、ご意見等がございましたらお願いいたします。</p> <p>この2つの案に絞ったところについてはよろしいでしょうか。A案とK案の細かいバリエーションが幾つか出ておりますが、いかがでしょうか。</p>

委員	この案は最終的にどういうところまで、決めるのでしょうか。
会長	今、2つ案がありますよね。細かい部分は先生とやり取りするとして、今日は、どちらの案にするかというところまで行けるとありがたいなと思っています。
委員	部会のほうでも文字の位置が真ん中に来ていないという意見があって、文字を下げてもらったのですが、上のところのスペースが間が抜けているように感じました。
会長	他にはいかがでしょうか。細かいところの前に、どちらのほうかというようなご意見があるとありがたいのです。 ちなみに、部会の意見としては大体半々ぐらいの感じだったのでしょうか。
教育施設計画係推進担当係長	部会としてはA-3案のほう優先順位は高かったです。ただ、K-2案に関しては、資料を見ている間にどんどん評価が上がって行って、次点というような形で2つには絞り込んでおります。
会長	ありがとうございます。 部会のほうではかなり検討をされて、細かいご意見も頂戴しているようなのですけれども、懇談会全体会ということでほかの委員さんからもご意見をいただきたいと思います。
委員	やはりA案のほう校章としては今までの形と合っていて、重みがあるという意見が検討部会でも出ました。逆に言えば目新しく見えないということもあります。私も今どっちか決めかねているのですが、新しい学園と考えたら斬新なK案もいいのかとも思っています。
委員	どちらかに決まった後、学園章は、中学校の標準服だけでなく、小学校の標準服にもつけるのですか。
会長	その辺も含めて検討になると思います。
委員	K案は斬新でいいのですけれども、先が尖がったりしているので小学生がつけることを思うと気になります。もし標準服に付いて毎日つけることになるのであれば丸いほうが安定感があっていいかなと思います。 また、「高円寺」という文字は全部同じ太さではなくて、横が細いフォントのものの方が座りがいいような気がします。
会長	ありがとうございます。 しかし、小学生がバッジを毎日つけるということは少し考えにくいです。
委員	バッジを毎日つけるというのは、余り想定はないかなと思います。小学校で使うとしたら、校旗のデザインになるくらいです。 最初はいっぱい案がありましたが、検討部会では絞り込んだものを懇談会に出そうと検討をしてきました。A案の方は割とオーソドックスな案で、高南中と少し似ているのではないかなという意見もありました。修正案と高南中の校章を見比べて、かなりはっきりと違いがあるということを確認し、A案がいいのではないかなという方向ではあったのですが、K案のほうもなかなか捨てがたいという意見が出てきてました。先ほどのお話しにもあったように、斬新さを求めるな

	<p>らK案というところで検討部会としては最終的にはこの2つの案を提案することになりました。</p> <p>ここでどちらかの案に決めていただけると先に進めるので、もう少しご意見をいただければと思います。</p>
会長	<p>たくさんの案から2つに絞っていただいて感謝申し上げます。</p> <p>では、他にご意見はいかがでしょうか。</p>
委員	<p>どちらもすごくいいと思うのですが、私は先程あった図中に杉をイメージしているというお話を聞いてA案のほうがいいかなと思います。K案は別にバッジにするとかではなくて、刺々しい感じが強いイメージです。</p> <p>好みの問題かなとは思いますが、何となく丸みがあるほうが個人的には好きなのでA案のほうがいいかなと思いました。</p>
会長	<p>ありがとうございます。当然、個人的な見解にはなると思います。</p> <p>少し刺々しいというのがありましたし、普段、バッジとして付けたときにどうなのかという意見がありました。他はいかがでしょうか。</p>
委員	<p>検討部会では最初、隣の高南中と校章が似ているという話が出ましたが、図中を大分変えていただいたので全体のフォルムは似ているのですが、A案は大丈夫となりました。でも、パッと見て、「あっ、高円寺学園」とすぐ分かる案となると、やはりK案のほうが斬新かなという感じはします。</p>
会長	<p>先ほども新しい学校ということでK案を押す意見がございましたが、再度ご意見がございました。ほか、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>いろんな学校の校章が一斉に並ぶ機会ってあるのでしょうか。</p>
会長	<p>並ぶ機会はほとんどありません。それぞれの学校の校章です。</p> <p>以前、全区立学校の校章の一覧を事務局でご用意いただきましたね。</p>
教育施設計画係推進担当係長	<p>事務局の内部資料ですね。懇談会用に整理した資料です。</p> <p>今日、どちらかのデザインに決めていただければ、色面のカラーバリエーションなんかも含めて、先生にご相談することができるかなと思っているのですが、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>この校章を使用するとしたら、旗とか、あとは校舎に設置する場合になるのですね。標準服の場合だと、詰め襟の襟の部分に付くわけですね。仮にブレザーの標準服だとするとどうなるのですか。</p>
会長	<p>ブレザーだと、エンブレムをつける学校もあります。標準服がない学校でも布にバッジを付けて登校するように指導しているところは結構あるかなと思います。</p>
委員	<p>K案のほうもいいのかなと思ったのですが、私も尖がっているのが気になりました。詰め襟であれば問題ないかなと思うのですが、小学生の標準服が導入されたらと仮定すると、バッジを付けるのは危ないかなと思います。</p> <p>格好よさで言うと、多分男の子なんかはK案を選ぶと思いますし、A案は少しダルマのようなフォルムなので、K案のほうが格好いいという声が出そうな気が</p>

	<p>します。校舎の上に設置するとすると、K案のほうが格好いいイメージがあります。</p> <p>どちらもそれなりの良さがあると思いますが、K案をバッジにした場合、例えば転がって踏んでしまったり、飲み込むことはないにしても、そういう怖さを感じます。言い出すと切りがないのですが。</p>
委員	<p>いま、小学生に尖ったバッジを付けさせるのは危険性として感じられるという意見がありましたが、小学生に標準服を導入したときは、バッジではなく刺繍にすればいいと思いました。もしK案になった場合は、ブラウスのところに刺繍を入れるなど、バッジではない使用方法を検討すればいいかなと思います。K案になった場合であっても、危険性がないように考えて対応できると思います。</p> <p>あと、どちらの案を選ぶかは本当に好みだと思うし、決められないと思うので、2つまで絞ったので、最後は子どもたちに選んでほしいなと思います。それでしたら、みんなが納得するのではないかなと思います。アンケートをするのは、杉八小、杉四小、高円寺中の子だけで十分だと思うので。</p>
委員	<p>バッジと考えるからいけないのであって、ロゴマークという考えでいけば、尖がっているというのは別に関係ないということですね。</p>
会長	<p>事務局的にはどうでしょう、今のご提案については。</p>
教育施設計画係推進担当係長	<p>そうですね。いま委員のほうからお話があったのは、検討部会、懇談会でデザイン案を2案まで絞ったので、4月以降の在校生にアンケートをする方向ではどうかということです。アンケートをとれば、なぜこっちのデザインがいいと思うのかなどの素朴で面白い意見なども上がってくるかなとも思いますのでいいかなと思います。</p> <p>先生には一定程度のデザインは出していただきましたので、デザイン案の制作ということに関しては履行されたという考えでいいかと思います。</p> <p>今の提案で委員の皆様のご了承がいただけるということであれば、新年度になってから、そのような形でアンケートを採り、その結果を踏まえてデザイン案を選ぶということとしたいと思いますが、よろしいですか。</p>
会長	<p>特にご異議がなければ、今の提案の形で、新年度になったらアンケート調査をかけるという段取りでいければと思います。</p> <p>(意見なし)</p> <p>ありがとうございました。それでは、提案のとおりよろしく申し上げます。</p> <p>それでは、次第4にいきたいと思います。</p> <p>「標準服について」ということですが、2月16日に第1回目の標準服検討部会を行いまして、アンケート案と配布時期についてご検討いただきました。こちらにつきまして事務局よりご説明お願いいたします。</p>
教育施設計画係推進担当係長	<p>標準服導入の可否から検討することを前提として、保護者等へのアンケートを実施することを考えておりました。2月16日に第1回標準服検討部会を開催いたしまして、事務局で作成した実施要領案とアンケート案のたたき台に基づいて</p>

	<p>検討部会委員の皆様と意見交換を行いました。</p> <p>まず、資料6の実施要領案ですが、アンケートの実施内容の(2)「配布対象」ですが、3校の教員と在校生あるいは保護者と、今後新校に入学するであろうお子さまが通っている就学前施設の園児の保護者にご協力をいただくということでお示ししました。</p> <p>資料5の会議録にあるように、検討部会では資料6に挙げている就学前施設に、馬橋小の北側にある杉並さゆり保育園を追加した方がいいのではないかと意見をいただきました。</p> <p>次に、(3)の「配布時期」から(8)の「結果取扱」までは、おおむねこのような形で進めていっていいのではないかとということで確認しました。</p> <p>次に、資料7のアンケート案についてです。資料5の会議録にあるように、「標準服導入が前提のアンケートと受け取られないため、説明文には導入の可否を含めてアンケートするということをつけ加えてほしい」、「杉四小、杉八小には現在標準服がないということを丁寧に記載してほしい」、「標準服のフルセットが約3万円とあるが、その中にどういう内容が含まれているか記載してほしい」というような、アンケートにお答えいただく対象者に正しい情報を伝達するために、より丁寧な記載が必要なのではないかという意見がありました。</p> <p>次に、「導入の希望をした理由が知りたいので、想定される理由の選択肢を入れ込んで、複数回答可能な形にして答えていただいたほうがよいのではないか」、「男女によっても意見が分かれてくるので、学年と性別を記入してもらったほうがよいのではないか」という意見が出ました。</p> <p>そして、高円寺中はすでに標準服を導入しているので、継続することを前提にして、小学校の標準服を導入するかどうかに限定してアンケートを実施して、さらにデザインの希望を伺うということがいいのではないか。また、アンケートの実施あるいは集計の仕方として、対象が少ない中学生の思いが反映されづらくなる可能性があるため、それぞれの対象者に分けて集計して、傾向を見ることが大切であるというようなことを確認いたしました。</p> <p>資料7は部会に出したアンケート案のままの形になっていますので、検討部会の意見を踏まえて、抜本的に修正しまして、次の部会に挙げさせていただきたいと思います。そして、内容が固まりましたらアンケートを実施したいと考えているところです。</p> <p>標準服検討部会の報告については以上になります。</p>
会長	<p>ありがとうございました。事務局より標準服検討部会での検討経過をご説明いただきました。</p> <p>それでは、今出たところも含めましてご意見等がございましたらお願いいたします。ご質問でも結構です。いかがでしょうか。</p>
委員	<p>このアンケートの写真は冬服と考えていいのですか。もしアンケートに載せるのであれば、夏服もあったほうがいいのかと思うのですが。</p>
教育施設計画	<p>これはあくまで例として考えて高円寺中の現在の標準服などを載せておりま</p>

係推進担当係長	<p>す。確かに冬服、夏服があればイメージ的に分かりやすいと思うのですが、ここでは、詰め襟型かブレザー型と大きく2つに分かれるというを例示しています。また、標準服がこの掲載したデザインに決まっている訳ではないのですが、必要でしたらイメージという形でアンケートに写真を追加することになります。</p>
会長	<p>確かに夏服もいろいろありますね。 ほかに標準服についてご質問、ご意見いただければと思います。</p>
教育施設計画係推進担当係長	<p>標準服検討部会の会議録を見ていただくとわかるように、部会ではかなり活発な意見交換がなされました。部会での意見を踏まえてアンケート対象者に理解してもらうために、事務局でより丁寧に作り直して検討部会にお示しさせていただきます。修正をかけて完成した後、実施に移らせていただければと思いますので、よろしくをお願いします。</p>
会長	<p>段取りとしましては、いただいた意見を基にアンケートの手直しをして、部会と懇談会でまた見ていただく形になると思います。何かこの場でありましたら頂戴しておきたいのですが、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>質問です。中学生は既に標準服を採用して、日常的に着ているから問題ないかなと思っているのですが、小学校は全く新しく着用ということになります。普段使いとして実際にどのくらい標準服で登校してくるか。ちょっと見通しがつかないです。私服に慣れていて、私服がほとんどになる可能性もあるかなと思います。</p> <p>標準服を着せてしまうと同一服装の子が大勢になるので、かえって判別がしにくくなるように思います。赤いシャツを着ている子や、緑のシャツを着ている子がグラウンドを走っていた方が、小学生はよっぽどよく分かる。なので、集団行動の場合に標準服を着て団体で行く場合、上の学年はいいと思いますが、小さい子はむしろ私服でいいのではないかというように思います。また、校内では体操着で過ごす時間も多と思うのです。</p> <p>それから、私服の中で極端なものさえ着てこない限り、おおらかに私服を着用するという考え方がいいと思います。むしろ標準服は、あるから着てもいいですよ位の感覚が小学生にはいいかなという気がするのです。また、標準服ありきでスタートしてしまうと、抵抗感を持つ親が出るかもしれないと思います。</p> <p>その辺の親の本音をアンケートで採ってみたいのです。例えば「標準服になった場合、登校するとき標準服にする割合はどのくらいありますか」のような感じですか。私服一辺倒ですとか、半分ぐらいは標準服ですとか、式服としてのみ着せませすとか、礼服として個人的に家族のお葬式や結婚式があったときに着せていきますとか。あまり着せないという家庭もあるかもしれないので、現実にとれだけの小学生が使うかということの本音を聞き出せる質問が可能なら、その辺りを聞いてもらいたいと思います。</p>
教育施設計画係推進担当係長	<p>今、委員がおっしゃったような例えば使用頻度だとか、小学生の成長に合わせての買い替えの時期が来るだとかで経費的な課題もあると思います。現在の在校生の保護者だったり、今後入学するであろう就学前施設に通っている園児の保護者の感覚をアンケートを通して伺った上で、その結果を基にまた懇談会で意</p>

	見交換できればなと思っております。
委員	未就学児の保護者にアンケートを採るということですが、高円寺学園を余り知られていない方に対して、あまり一般的ではない「小学部・中学部ともに」という文言が使われております。高円寺学園だから、「小学部・中学部」という表現を使っているとは思いますが、私たちも小学生は小学生、中学生は中学生と言うので、やはり一般の方に対してアンケートをお願いするということを考えたら、「小学生・中学生」という表現のほうがいいのではないかと思います、どうでしょうか。
教育施設計画係推進担当係長	今、ご指摘いただいたことは本当に大切なことで、確かに小中一貫教育校として開設する関係で、「小学部・中学部」という表現にしておりますけれども、この辺も受け取った方がわかりやすいように修正して検討部会に出していきたいと思えます。
委員	アンケートに関して、まだこれからブラッシュアップしていくかと思うのですが、未就学児童の家庭になると、「そもそも小中一貫って何？」というところから入ると思うのです。小中一貫教育だから標準服を統一するというような説明がないと、積極的な意見が余り出てこないかなと感じています。 あと、「標準服とは」というところで、「近年、小中一貫教育校として開校した学校は、小中で同じ標準服を採用する学校が多く」とありますが、私の実感としてはそんなに多いのかなと正直感じました。例えば10校中7校が小中一貫校開校とともに採用しているとか、そこら辺の統計的なものはありますか。
教育施設計画係推進担当係長	例えば、都内の小中一貫教育校で、近年開校した何校中何校が同じ標準服を導入していますとか、そういうふうには書けると思えます。ただ、杉並和泉学園は小学校に標準服は導入しなかったという経過がありますので、他区の事例という形になろうかと思えますが、可能だと思えます。
委員	重ねて申し上げますが、是非親の本音を引き出していきたいなと思えます。本当に標準服で小学生を通わせるかというところでは、お茶の水女子大附属でも、学習院でも、私立を含めて附属学校では小学生の時から標準服で、そのような子どもたちの様子を見てきた限りでは、標準服が小さいころからずっとあって慣れているのだと思えます。 多分、普段の学校生活の中で標準服で登下校するとして、学校にいる間、半分くらいの間は運動着になっているかもしれない。学校によっていろんなスタイルがあると思うのですが、標準服で登下校する理由って何かなって思うのです。 昔、制服反対という動きがありましたけれども、その時になぜ標準服を喜んで着ているのかと、聞いたことがあります。制服反対という人が、なぜ制服がいけないのかというと、集団管理されている感じが嫌だからだそうです。標準服にしたって制服と同じようなものですから。子どもたちがそれを直に感じることはないと思えますけれども。 同じ服になってもお互いに自信を持っているというか、私たちは小中一貫校の

	<p>高円寺学園の児童・生徒だよと誇らしく思えたら標準服を着ると思うのです。だから、学校が子どもにいい影響がでるような学びの環境を整えて、標準服を着ることへの自信を持たせていく必要があると思います。</p> <p>それは感想みたいなものですが、何で標準服を着せるのだろう、どうしたら着るのだろう、という子どもの本音みたいなところを聞きたいです。</p>
教育施設計画係推進担当係長	<p>アンケートの中でも、例えば導入がいいのではないかという方がどのような理由でそう答えたのか、ある程度考えられる複数の選択肢を設けたいと思いますし、標準服は要らないという考えの方も当然いらっしゃるので、その理由についても、複数の選択肢を用意したいと思っています。あとは自由意見欄みたいなところを設けて、選択肢にはないのだけれども、標準服に関してはこう考えますというところをそのアンケートによって把握して、傾向を見たいと思います。</p> <p>実際、検討部会での意見でもあったように、対象者にアンケートの目的や、私どもの狙いや、検討する中身というものについてきちんと理解してもらうことが必要だと思っています。記載内容を事務局のほうで丁寧に表現を考えて修正して、部会で最終的に固めたいと思っていますので、よろしく願いいたします。</p>
委員	<p>もしこのアンケートをとる前に時間があるのであれば、参考に杉並和泉学園のアンケート内容とその結果、また、どういう意見が出たというのをご提示いただくことは可能でしょうか。</p>
教育施設計画係推進担当係長	<p>杉並和泉学園のときもやはりアンケートを実施して、最終的には小学校は今までどおり私服でいいという結論になりました。ただ、杉並和泉学園のときは、今回ほど就学前施設の保護者に協力依頼をしていません。たしか3～4園ぐらいだったと思うのですが、就学前施設の保護者は意外と導入については肯定的な意見が多い傾向であったと記憶しています。その辺の中身については記録が残っていると思いますので、お話しできるのではないかなと思います。</p>
委員	<p>特に現役の小学生のいわゆる自由意見みたいな回答ですね。そちらのほうが多分参考になるかなと思いますので。</p>
教育施設計画係推進担当係長	<p>はい。残っていると思います。</p>
委員	<p>小学校や中学校が、どういうふうに住生活するか全くわからないので質問させていただきます。中学生はそこそこ大きくなっているから、節度を持って生活するというのは分かるのですが、例えば小学校1年生が標準服を着たときに、毎日ボロボロに汚れて帰ってきたら結構大変だなと思うのです。いま、小学校の校内でどういう服装で生活しているのかがある程度わかると判断しやすいのですが、どのようにされているのでしょうか。</p> <p>新校はこうしますではなくて、例えば事例としてこの学校ではこういうふうな感じでやっていますとか、標準服を脱いだらどうしていますとかいうのが何となく分かっていたほうが考えやすいかなと思うのです。</p>

教育施設計画 係推進担当係 長	<p>検討部会のほうでも、保護者から例えば標準服を導入してドロドロになって帰ってきたらどうしようとか、そういう心配も出てくるのではないかというお話もありました。今お話があったように、標準服で登校して、例えば学校内で体操着に着がえて、帰りの段階でまた標準服に着がえてとかしている学校があるかも知れませんが、その辺の1日の生活が分からないとなかなか判断が付きづらいというご意見があるのは分かりますので、小学生の標準服を導入している学校なりに調査をして、その辺の運用の仕方を調べてみたいと思います。</p>
委員	<p>先ほど杉並和泉学園の際に、何園かに聞かれたと伺いましたけど、幼稚園は大体どこも制服ですよ。だから、その感覚でいくと、お母さんたちは標準服があってもいいかなと思うのですが、やっぱり小学校に上がると遊び方が違ってくると思います。また、中学になればある程度体格が決まるから、標準服があってもいいかなと思うのですが、小学生は6年生までの間に体格も変わってきますので、なくてもいいかなと思います。光塩女子なんかを見ると、みんなスモックを着て生活しています。あそこは園庭が人工芝ですからそんなに汚れないと思うのですが、そういうところもあります。幼稚園へ行って制服を着ている子は標準服にそんなに抵抗ないと思うのですが、やっぱり小学生は体格が変わってしまうので、できたら自由のほうがいいかなと思います。</p>
教育施設計画 係推進担当係 長	<p>私立幼稚園は制服を導入されているケースが多くて、現在通われている方にこういうアンケートがいったときには、導入がいいのではないかという意見も上がってくるかなとも思います。また、例えば保育園とかを利用されている場合には制服というもののイメージがなかなかつきにくいと思います。いま置かれている状況で考え方はさまざま違ってくるものだと思いますので、アンケートを実施することによって、何らかの形で傾向が見えてくると思います。なので、まずしっかりとアンケートを作って実施させていただいて、その結果の集約した内容を懇談会に報告して、また意見交換ができればなと思っています。</p>
会長	<p>では、標準服アンケートについては、また検討部会と事務局のほうにお返しして、さらに練っていただいたものをまた懇談会にご提案いただく、という段取りで進めていただければと思います。よろしく願いいたします。</p> <p>それでは、次第5「その他」です。事務局から何かございますでしょうか。</p>
教育施設計画 係推進担当係 長	<p>2点、ご報告いたします。次回の懇談会の日程なのですが、年度が変わりますと、保護者代表の委員の方も一部交代される方もいるとのことですので、改めて新年度に入ってから日程調整をさせていただければと思います。</p> <p>次に、前回の懇談会の段階では、クスノキの伐採をどうするのかということが区の内部でちゃんと決まっていなかったのですが、伐採をすることが決まりました。日程ですが、まず3月20日の9時半から氷川神社によるお祓いを実施します。その後、実際の伐採なのですが、3月26日に作業を行います。以上です。</p>
委員	<p>伐採のときは危険だと思うので、例えば25日までに卒業生の子とかが学校に見に来ることはできますか。</p>

会長	<p>どうぞ声をかけてください。この間、卒業していった生徒にも時間があつたらおいでと言ってあるのです。とにかく創立当初からある木だというので、とても大事にされていたクスノキなので、是非見に来てください。なぜ氷川神社に頼んだかという、氷川神社の宮司さんが本校同窓会の会長なのです。いつもだと卒業式の予行に来てくれて同窓会の話をしてくださるのですが、今ちょっと体調を崩されて入院中ということです。宮司さんは来られないのですが、氷川神社のほうにお祓いをお願いしてあります。</p> <p>伐採については春休みになってからということで学校整備課のほうで配慮していただきまして、26日ということになります。クスノキは前から懇談会でもお話が出ているとおり、加工して新たなモニュメントとして新しい学校のほうに飾らせていただくような段取りになっております。</p> <p>ちなみに、いまの同窓会長さんは3代目なのですが、先代と先々代の会長さんにもお伝えをしております。</p> <p>そのほか、委員の皆様から何かございますでしょうか。</p>
委員	<p>これはお願いというか、課題のようなことなのですが、ご提案させていただきたいと思います。</p> <p>杉四小も杉八小も高円寺中も、各校が伝統的にやっている行事があると思います。3校が1つになることによって、諸行事が整備されていくことになるかと思えます。それについて、何が残り、何が消え、何がどう形を変えるとか、それぞれ持ち寄って行事に対しての学校としての考え方、地域の協力のあり方を見直す時期が来ているのかなと思っています。</p> <p>単純にいまの高円寺中と同じ場所に新校ができるので、わくわくフェスティバルがそのまま続くだろうということは想像つくのですが、例えば杉八小のどんど焼きなどは会場であった小学校がなくなるので、どうなるのかなと思います。</p> <p>地域が学校をつくるということで伝統的に続けてきた大事な要素ですので、学校と地域と一緒に検討していく、そういう会合を来年度どこかで設けられるとありがたいなと思います。</p> <p>私としては、高円寺地域の教育推進協議会、地教推が関わっている行事も新しい学校に合わせていく変えていく部分もごございます。その基本的なところをどこかで情報交換して、考え方を提案できるような機会を作っていただければということです。以上、要望になります。</p>
会長	<p>ありがとうございます。</p>
学校整備担当 部長	<p>いまのご意見はとても重要な本当に大切なご意見だと思いますし、ご提案だと思います。教育長もかねがね地域は学校をつくり、学校は地域とともに生きていくのだという話をしていますので、行事の問題で、伝統をどう変えていくのか、どう継承していくのか、地域の力をどうやって新しい学校に連携して結んでいくかというのは大変な重要なことだと思います。ハード的な建物ができても、魂と一緒に育っていかなければやはりいい学校にならないし、地元に着着を持たれる学校づくりもできないかなと思います。</p>

	<p>1年開校が延びた期間に、先ほどの標準服の話や学園歌も含めて、じっくり意見交換して、内容を詰めていくことができます。行事の件のご提案は教育委員会以外にも地域課などが関連すると思うので、伝えたいと思います。</p> <p>次の懇談会で何をテーマにしていくかを考えて、また皆さんにご提案したいと思います。よろしくお願いいたします。</p>
会長	<p>ありがとうございました。行事のところも今後十分考えていかなきゃいけないところがございますので、ぜひぜひ一緒になって考えていければと思います。</p> <p>他になれば、来年度、異動される方、役職等が変わって今年度で終わりという方も含めまして、本当に1年間お世話になりました。次年度の懇談会につきましては、また年度が明けたところで調整のほうをさせていただければと思います。ありがとうございました。</p>